

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:工学研究科・工学部

| 項目 | コメント |
|-------------------------------|---|
| 1. 教育 (大学の年度計画: 1~7) | <p>教育に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、国際交流推進センターにて1・3年次のTOEICスコアの分析を行い、高学年次における英語能力の向上を検証するとともに、e-learningコンテンツの活用等により学部高年次英語教育を進めたほか、大学院における英語による授業の拡張を進め、化学系において新たな英語コースの平成27年度からの開始を決定するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 2. 研究 (大学の年度計画: 8~10) | <p>研究に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、若手研究者支援のため、国内・国際公募により優秀な研究者を募集し、テニュアトラック制度を継続して実施している。また、気象用フェーズドアレイレーダの開発により科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)を、ニーズとシーズの調査による電気技術の多角的理解増進に関する研究が科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を、脈管構造を有する三次元ヒト生体組織モデルの研究が科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 3. その他 (大学の年度計画: 11~17) | <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、第5回、第6回共同研究講座・協働研究所交流会の開催、第7回共同研究講座シンポジウムの開催のほか、産学連携学会や、研究技術・計画学会でも積極的に共同研究講座の紹介を行っている。同共同研究講座制度は、第12回(平成26年度)産学官連携功労者表彰文部科学大臣賞を受賞するなど、成果が上がっている また、日本人学生の新たな海外派遣プログラムを立ち上げるため、部局間学術交流協定を締結している大学に関連事項のアンケート、ヒアリング調査を行い、新規プログラムの素案を作成するとともに、部局間協定の締結・更新については、従来のボトムアップ型締結に加えて、国際交流委員会が戦略的に主導するトップダウン型締結を開始するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |
| 4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30) | <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 戦略支援部を設置し競争的資金の獲得に向けて研究者を支援するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |

達成状況評価書(平成26年度)

| 項目 | コメント |
|------------------|---|
| 5. 全体の項目に関する達成状況 | <p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、TOEICスコアの分析と学部高年次英語教育の推進、テニユアトラック制度の継続した運用、競争的資金の獲得のための研究者支援組織の設置など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p> |